

# 中学校 国語科の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

- 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約することができる。

思考力、判断力、表現力の育成

- 学年 第1学年
- 単元名 情報を読み取ろう『音読のすすめ』リーフレットを作ろう
- 教材名 「脳のはたらきを目で見よう」川島隆太（東京書籍）
- 言語活動 音読の大切さを小学生に伝えるためにリーフレットを作るという言語活動を通して、文章から目的に応じて必要な情報を取り出し、要約する力を付ける。
- 本時の目標 音読についての必要な情報（図、関連した説明）を取り出し、図に対応した補足説明を考えることを通して、文章を事実と筆者の考えとに読み分け、必要に応じて要約することができる。
- 学習の流れ（3時間目／全6時間）  
《前時までの学習内容》「音読がなぜ必要か。」という目的をもって本文を読み、音読すると脳が最も活性化することを確認した。そして小学生に音読の大切さを伝えるリーフレットを作成する活動を設定した。本時はリーフレットに掲載する必要な図を選び、その図の補足説明を書く学習である。※単元末で小学生にリーフレットを紹介。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確認する	小学生に音読の大切さを伝えるために、必要な図と説明を取り出し、図の補足説明を書こう。	
2 音読の大切さを伝えるために必要な図と説明を取り出す。 ○ 必要な図を選ぶ。	・10種類の図の中で、選んだ図がなぜ必要なのか考えさせる。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音読時の脳の活動図が必要 →音読すると脳が活性化することが分かるから。</li> <li>○ 音読時の脳の活動図と黙読時の脳の活動図が必要 →比べるものがないと音読が一番活性化すると言えないから。 →黙読でもよいと考える小学生が多いから。</li> <li>○ 上の二つの図と脳の各部分と機能の図が必要 →なぜ、活性化するのか説明する時に必要だから。 →活性化している脳の部分を具体的に説明する時に使えるから。</li> </ul> </div>	
○ 選んだ図に対応する説明の内容を確認する。 ○ 班内で交流し、全体で確認する。	・図を説明している文章から事実（脳のどの部分がどのくらい活性化しているか）と筆者の考えを取り出させる。  ・モデル文を示し、補足説明の役割を確認させる。 ・必要な情報を本文から取り出させ、まとめる手順や分量を示し、要約させる。	・文章を事実と筆者の考えとに読み分け、必要な図と説明を取り出し、それを要約して補足説明を書いている。 〔読むこと〕（行動観察、ワークシート）
3 図の補足説明を書く。		
4 本時のまとめと次時の確認をする。	・次時で本時の学習を踏まえながら、「私が音読をすすめるわけ」を考えていくことを確認する。	

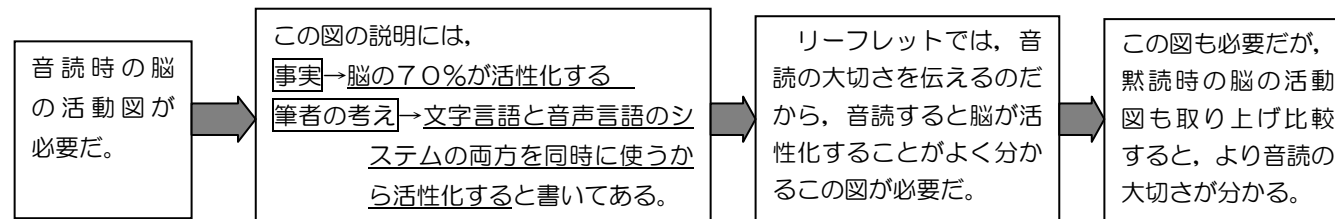
言語活動の充実

## 指導のポイント

### 目的に応じて必要な情報を取り出させる

- 学習活動2において、本文中から必要な図を選ばせる際には、図を説明している文章を事実と筆者の考えとに読み分けさせてその違いをとらえさせた上で、この図がリーフレットの目的に合っているか判断させましょう。

<生徒の思考> ※図と説明の関連を考えさせながら読み取らせ、目的に合っているか、他に必要な情報はないかを考えさせます。



### 目的に応じて要約させる

- 学習活動3において、「音読の大切さを伝えるリーフレットに掲載する図の補足説明を書く」という目的を明確にしましょう。また、必要な情報を本文から取り出しまとめる手順を教えましょう。

#### 補足説明を書かせる手順

- ① モデル文を示し、補足説明の役割を確認させる。
- ② 本文中の説明から、図だけでは分からない情報でしかも音読の大切さを伝えているという情報を取り出させ、一つの内容を一文にまとめさせる。  
  

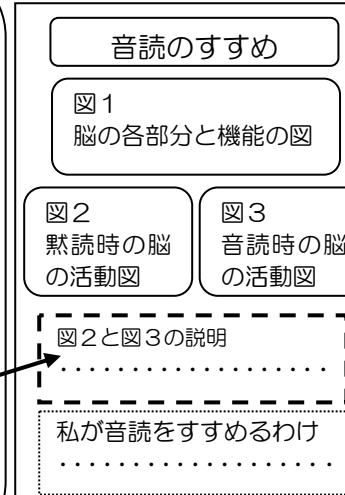
例

  - 音読時は、脳の70%以上もの神経細胞が働く。
  - 脳が黙読時よりも広い範囲で活性化している。
  - 音読は、文字言語と音声言語の二つのシステムを同時に使う。
  - 二つのシステムを同時に使うから、これほどまでに活性化すると考えられる。
- ③ 補足説明の分量を示し、それに合うように②をつないでまとめさせる。

#### 補足説明の例 ※100字程度でまとめさせる。

音読時の脳は、黙読時より広い範囲の脳の70%以上が働き、活性化しています。これは、音声言語のシステムと文字言語のシステムの両方のシステムを同時に使うからと考えられています。

#### <リーフレットの例>



### 新学習指導要領では

#### （1）の指導事項を（2）の言語活動例を通して指導することを一層重視

- 今回の改訂において、各領域では、国語の能力を調和的に育て**実生活で生きて働くように、それぞれの領域の特性を生かしながら生徒主体の言語活動を活発にし、国語科の目標を確実かつ豊かに表現できるように内容を改善**しています。各学年の内容の指導に当たって、**（1）の指導事項を（2）の言語活動例を通して指導すること**を一層重視しています。
- 本事例では、「音読のすすめ」リーフレットを作るという目的で、本文中から必要な図と説明を選び、図の補足説明を書く活動を設定しています。目的をもたせることで、**主体的な読み取り**になります。また、必要な図と説明の関連を読み取ることで、**文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分ける**ことができるようになります。図の補足説明を書くことで、**目的や必要に応じて要約**することができるようになります。